

『八重桜の挿し木』 にチャレンジします 令和3年6月6日～

2年後の 令和5年度春の植樹祭用の苗木を作ることを目指して 朝日二丁目集会所公園の八重桜の挿し木(穂)にチャレンジします。穂の挿し木では 8割前後の発根を実現しているのですが、桜は初めての挑戦ですので手探りの状態です。インターネットの情報を参考にしながら 穂での経験も加味して・・・ さぁどうなることやら。

桜を挿し木で増やす方法とは？

Green Snap編集部Web情報

- 1.挿し穂に生えている葉は、切り口側の下半分を全て落とす。
- 2.挿し穂の切り口を斜めにカットし、2～3時間ほど切り口を水につけておく。
- 3.育苗ポットに、挿し木用培養土を3分の1ほど入れる。
- 4.挿し穂の切り口に発根剤をつけ、そっと育苗ポットの中に挿す。
- 5.挿し穂は土から5cmほどでるくらいの高さに植える。
- 6.脇から培養土を継ぎ足し、ポット上口2～3cm手前くらいまで土を入れる。
- 7.発根して新芽がでるまで、土が乾かないように水やりをして、半日陰で管理する。
- 8.半年ほどして、十分に生育が安定したら、鉢に植え替える。

①令和3年6月7日(月)晴 9:30

↓ 上部に穂の挿し木が見えています (昨年挿し木或いは実生にしたものです)



水やりを開始

朝・夕の2回を基本に 土の表面が乾いているようだと その都度スプレーでたっぷり水やりをします。

夏日(気温25℃以上)で日差しの強い日は 遮光ネットをします。



↑ ここの中に設置

挿し木(穂)の安定具合を確認しながら ホースから直接シワーでの水やりを切り替えます。最初から直接ホースのシャワーをかけると 挿し穂がぐらついてしまうので 注意が必要です。

②令和3年6月8日(火)晴 17:00

夕刻の水やりで『メネデル』の500倍溶液を足しました。

～ 朝・夕の2回を基本に水やり ～

③令和3年6月17日(木)晴(梅雨の晴間) 13:30

9本の挿し木(穂)のうち2本がクタクタです。(上写真の赤っぽい葉の挿し穂)原因は 挿し穂がまだ若く先っぽだったために十分に水を吸い上げられなかった為と思われます。(右2枚の写真) 急ぎ新しい挿し木(穂)に作り変えました。



クタクタです。【新しい挿し木(穂)に作り変えました】

④令和3年7月1日(木)小雨後曇り 05:40



葉っぱが全部落ちました

9本の内 1本の葉っぱが全部落ちてしまいました。17日に作り変えた挿し穂は 今のところ元気です。

しばらくは このまま様子を見ようと思っています。(実は 葉っぱの落ちた挿し穂も まだ諦めていません。)